

科目名		電気通信の技術			
担当教員		津野 英夫	実務授業の有無	○	
対象学科	電気電子工学科	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	96
授業概要、目的、授業の進め方	有線電気通信の基本となる、端末設備の接続のための技術および理論をしっかりと理解し、電気通信エンジニアとしての知識と仕事の誇りを持つ。 なお、前期途中からの授業開始となるが、前期間・後期間における確認テストで各々評価する。				
学習目標 (到達目標)	講義期間中の11月に工事担任者試験DD3種を、進級後の5月にDD1種合格を目指す。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	工事担任者DD1種標準テキスト (リックテレコム)				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	電気通信と工事担任者		工事担任者の業務と資格について理解する		
2	端末設備の技術 ①ILAN ②インターネットプロトコル		LANの概要からアクセス制御方式、機器の構成を理解する ADSLやIP電話の技術を理解する テキスト中心にいろいろな規格の特徴を学ぶ		
3	ネットワークの技術 ①IPネットワーク ②その他の通信プロトコル		各種伝送方式の違いを理解し、プロトコルの概念がわかる TCP/IP階層モデルと管理コマンドを理解する WANの技術と光アクセスネットワークの構成を理解する		
4	情報セキュリティの技術		コンピュータウイルスや不正アクセスの種類を理解 電子認証技術の理解 情報セキュリティ管理の姿勢を学ぶ		
5	接続工事の技術 ①LANの配線工事 ②構内情報配線システム		メタリックケーブルの施工を実施する 光ファイバについてはテキストで 設備設計時の公式の見方を覚える		
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
平常点	確認テスト			教科書の内容を追いかけるだけでなく、DD1種過去問題を有効に活用して、問題を解きながら理解を深めるように頑張ろう	
10 %	90 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		制御システム設計者として、製造の現場に45年間関わっていた 工事担任者総合種			